

平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 貴士
 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-37-6585

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	1,258	9.9	144	55.2	173	63.1	133	114.2
26年5月期第3四半期	1,144	18.4	93	121.9	106	95.3	62	110.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	221.04	—
26年5月期第3四半期	102.86	102.47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	2,071	864	41.7	1,429.09
26年5月期	1,806	700	38.8	1,158.21

(参考)自己資本 27年5月期第3四半期 864百万円 26年5月期 700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,826	6.7	144	△4.6	177	6.6	129	26.5	214.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	619,500 株	26年5月期	619,500 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	14,400 株	26年5月期	14,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	605,100 株	26年5月期3Q	607,001 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策等により、企業収益の改善や設備投資の持ち直し等が見られ、国内景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や物価上昇による個人消費の落ち込み等が懸念され、国内経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する建設業界におきましては、官公庁工事を中心に受注が堅調に推移した一方で、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、新たに西東京支店を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材育成も積極的に行い、業容拡大や収益力の向上等を図って参りました。

これらにより、当第3四半期累計期間における売上高は、1,258,158千円（前年同期比9.9%増）、営業利益は、144,450千円（前年同期比55.2%増）となりました。また、経常利益は、当社太陽光発電による売電収入20,757千円、外国社債に関する有価証券利息12,078千円、助成金収入8,354千円、減価償却費16,129千円、支払利息2,918千円、貸倒引当金繰入額2,898千円等の計上により、173,187千円（前年同期比63.1%増）となり、四半期純利益は、法人税等の計上により、133,750千円（前年同期比114.2%増）となりました。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事などの増加により、売上高は1,127,571千円（前年同期比11.0%増）となり、セグメント利益は222,363千円（前年同期比31.4%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、改修工事などの減少により、売上高は123,544千円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント利益は13,708千円（前年同期比1.1%増）となりました。

(その他)

不動産事業、加盟店関連事業などで構成されるその他の事業におきましては、当第3四半期累計期間において不動産売上と材料販売などの増加により、売上高は7,042千円（前年同期比333.6%増）となり、セグメント利益は2,545千円（前年同期比465.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ265,374千円増加し、2,071,699千円となりました。これは主に、完成工事未収入金の97,711千円の増加、現金及び預金の67,621千円の増加、投資有価証券の46,679千円の増加、未成工事支出金45,040千円の増加、受取手形の10,239千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ101,469千円増加し、1,206,959千円となりました。これは主に、未払法人税等の97,232千円の増加、工事未払金の57,247千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ163,905千円増加し、864,740千円となりました。これは主に、利益剰余金の133,750千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月9日に公表いたしました平成27年5月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	366,233	433,854
受取手形	54,055	64,294
完成工事未収入金	188,305	286,017
売掛金	12,643	8,607
販売用不動産	1,769	—
未成工事支出金	63,412	108,452
原材料及び貯蔵品	23,097	15,505
その他	32,837	35,827
貸倒引当金	△3,558	△6,048
流動資産合計	738,796	946,511
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	395,240
その他(純額)	235,714	219,494
有形固定資産合計	630,954	614,735
無形固定資産	66	66
投資その他の資産		
投資有価証券	338,426	385,105
その他	106,178	135,210
貸倒引当金	△8,097	△9,930
投資その他の資産合計	436,507	510,385
固定資産合計	1,067,528	1,125,188
資産合計	1,806,325	2,071,699
負債の部		
流動負債		
工事未払金	237,222	294,469
買掛金	40,746	36,556
短期借入金	155,000	—
1年内返済予定の長期借入金	82,142	95,615
未払法人税等	1,781	99,014
完成工事補償引当金	48,009	54,496
その他	133,178	85,047
流動負債合計	698,080	665,200
固定負債		
長期借入金	295,269	420,059
資産除去債務	3,668	3,994
その他	108,472	117,705
固定負債合計	407,409	541,759
負債合計	1,105,490	1,206,959

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,012	185,012
資本剰余金	165,642	165,642
利益剰余金	287,212	420,963
自己株式	△11,904	△11,904
株主資本合計	625,962	759,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,872	105,026
評価・換算差額等合計	74,872	105,026
純資産合計	700,834	864,740
負債純資産合計	1,806,325	2,071,699

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,144,855	1,258,158
売上原価	809,843	856,781
売上総利益	335,012	401,377
販売費及び一般管理費	241,967	256,927
営業利益	93,044	144,450
営業外収益		
不動産賃貸収入	3,320	2,921
有価証券利息	11,179	12,078
売電収入	—	20,757
助成金収入	—	8,354
その他	2,256	8,434
営業外収益合計	16,757	52,547
営業外費用		
支払利息	2,437	2,918
売電費用	—	1,796
減価償却費	720	16,129
貸倒引当金繰入額	—	2,898
その他	484	67
営業外費用合計	3,642	23,810
経常利益	106,159	173,187
特別利益		
違約金収入	—	43,200
特別利益合計	—	43,200
税引前四半期純利益	106,159	216,387
法人税、住民税及び事業税	45,015	97,325
法人税等調整額	△1,292	△14,689
法人税等合計	43,723	82,636
四半期純利益	62,436	133,750

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年11月20日開催の臨時取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成25年11月21日付で自己株式3,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が3,240千円増加し、当第3四半期会計期間末において11,904千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,015,436	127,794	1,143,231	1,624	1,144,855
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,015,436	127,794	1,143,231	1,624	1,144,855
セグメント利益	169,227	13,557	182,785	450	183,235

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,785
「その他」の区分の利益	450
全社費用(注)	△90,191
四半期損益計算書の営業利益	93,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,127,571	123,544	1,251,116	7,042	1,258,158
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,127,571	123,544	1,251,116	7,042	1,258,158
セグメント利益	222,363	13,708	236,072	2,545	238,617

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	236,072
「その他」の区分の利益	2,545
全社費用(注)	△94,167
四半期損益計算書の営業利益	144,450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。